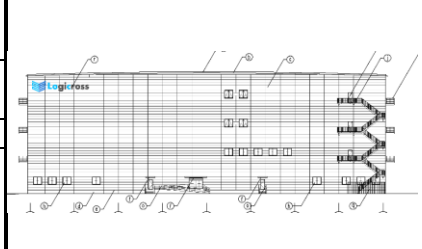


| 1-1 建物概要 | | 1-2 外観 | |
|----------|--------------------------|--------|----------------|
| 建物名称 | (仮称)ロジクロス厚木Ⅱ開発計画 | 階数 | 地上4F |
| 建設地 | 厚木市上依知字谷戸坂上1043番1、1043番6 | 構造 | S造 |
| 用途地域 | 工業地域 | 平均居住人員 | 400人 |
| 地域区分 | 6地域 | 年間使用時間 | 4,380時間/年(想定値) |
| 建物用途 | 工場 | 評価の段階 | 実施設計段階評価 |
| 竣工年 | 2019年7月 予定 | 評価の実施日 | 2018年6月6日 |
| 敷地面積 | 17,337 m ² | 作成者 | (株)鴻池組 東京本店 |
| 建築面積 | 8,880 m ² | 確認日 | 2018年6月7日 |
| 延床面積 | 35,068 m ² | 確認者 | (株)鴻池組 東京本店 |



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.4 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

30%: ☆☆☆☆ 60%: ☆☆☆☆ 80%: ☆☆☆☆ 100%: ☆☆☆ 100%超: ☆☆☆

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.8

Q1 室内環境

Q1のスコア = 0.0

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.6

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.3

LR のスコア = 3.6

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.2

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.1

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.5

| 3 設計上の配慮事項 | |
|--------------|---|
| 総合 | <ul style="list-style-type: none"> 省エネルギー性能に配慮した建物となっている。 大規模な緑化を行い、中高木を多数配置している。 |
| その他 | |
| Q1 室内環境 | <ul style="list-style-type: none"> 給排水管は、耐用年数の長い部材を採用。 階高、壁長さ比率の確保等、空間のゆとりに配慮。 十分な積載荷重を確保。 |
| Q2 サービス性能 | <ul style="list-style-type: none"> 20%以上の外構緑化を行っている。 中高木を多数配置している。 |
| Q3 室外環境(敷地内) | <ul style="list-style-type: none"> 省エネルギー性能を高め、LOOC2排出率を削減するにより、地球温暖化防止に努めている。 ガス設備設置無し等、大気汚染防止に努めている。 交通負荷の抑制に配慮している。 |
| LR1 エネルギー | <ul style="list-style-type: none"> LED照明等の高効率設備機器を採用している。 |
| LR2 資源・マテリアル | <ul style="list-style-type: none"> 節水性能への配慮を行っている。 LGS地下、OAフロアの採用等、解体時におけるリサイクル性に配慮している。 |
| LR3 敷地外環境 | |

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される